

【大会規則】

昨年からの変更点は下線が引いてあります。(Ver1.5での変更点は青字、Ver1.6での変更点は赤字となっています)

開催日程	K耐久		開催日時	決勝時間	募集台数	申込受付期間
	第1戦	3月21日(日)	3h	38台	2月15日～3月1日	
	第2戦	5月16日(日)	3h	38台	4月12日～4月26日	
	第3戦	7月11日(日)	4h	38台	6月7日～6月21日	
	第4戦	9月26日(日)	3h	38台	8月23日～9月6日	
	第5戦	11月21日(日)	3h	38台	10月18日～11月1日	
	開催場所は全て「スパ西浦モーターパーク」 午前、午後の振り分けはタイムスケジュールにて発表となります エントリー台数の都合上、一部クラスがGT耐久に編入される場合がございます					
	GT耐久		開催日時	決勝時間	募集台数	申込受付期間
	第1戦	3月21日(日)	3h	32台	2月15日～3月1日	
	第2戦	5月16日(日)	3h	32台	4月12日～4月26日	
第3戦	7月11日(日)	3h	32台	6月7日～6月21日		
第4戦	9月26日(日)	4h	32台	8月23日～9月6日		
第5戦	11月21日(日)	3h	32台	10月18日～11月1日		
開催場所は全て「スパ西浦モーターパーク」 午前、午後の振り分けはタイムスケジュールにて発表となります エントリー台数の都合上、K耐久の一部クラスが編入される場合がございます						
参加資格	1. 有効な普通自動車免許の所有者であること。 2. 以下a～dいずれかの該当者であること。 a. スパ西浦モーターパークのサーキットライセンス所有者 b. JAF(競技運転者許可証)国内B以上のライセンス所有者 c. JAF公認サーキットのサーキットライセンス所有者 d. 過去に「ライセンス未取得者向け講習会」を受講した者 上記a～cのいずれのライセンスも持っていない者は、レース当日に開催される「ライセンス未取得者向け講習会」を受講すること。(過去に一度でも「ライセンス未取得者向け講習会」を受講した者はdに該当するので、二度目は受講しなくてよい) 上記a～dのいずれにも該当しないドライバーが「ライセンス未取得者向け講習会」を受講しなかった場合、そのドライバーが所属するチームは賞典外となる。 3. 主催者が認めるドライバー。					
参加車両	参加車両は別項の「車両規則」に合致した車両であること。					
参加申込	1. 申込受付期間 上記、開催日程の欄に記載された申込受付期間内に下記の要領で申し込むこと。 2. 申込方法 ・必要書類(「参加申込書」と「車両申告書」)に必要事項を記載の上、下記の「GT走行会運営事務局」まで郵送、FAX、またはe-mailで送付すること。 必要書類は公式HPよりダウンロードするか、事務局までご請求下さい。 『申込先』 〒438-0073 静岡県磐田市二之宮東14-17 (株)GT CAR プロデュース内「GT走行会運営事務局」宛て FAX : 0538-37-6678 e-mail : info@gt-produce.com ・参加費用を参加申込書送付から3日以内に銀行振り込みで送金すること。 『振込先』 浜松信用金庫 磐田支店 普通 098186 口座名義 カ)ジーティーカープロデュース チーム代表者と別名義で入金する場合は必ず事務局までその旨を伝えること 振込手数料は参加者負担とする 3. 申し込みの成立 参加費用の振り込みをもって正式申込みと見なす。募集台数に達した場合は、正式申込みの順にて受理する。 4. キャンセル 申込期間中のキャンセルは事務手数料1,000円を差し引き返金する。 受理書発送後のキャンセルはできない。 指定ピットの位置は、申し込み順に1コーナー側から割り振る。 他チームと隣り合わせのピットを希望する場合は申し込み時に申請すること。この場合、後から申し込んだチームの順番のピット位置となる。					
参加費用	1. 3時間耐久: ロールケージ装着車両・・・46,000円(税込) / ロールケージ未装着車両・・・51,000円(税込) 2. 4時間耐久: ロールケージ装着車両・・・59,000円(税込) / ロールケージ未装着車両・・・64,000円(税込) ロールケージの装着を強く推進するため、装着の有無で参加費の差を設ける					
参加人数	全戦とも1チームあたり2～6名までのドライバーとする。 登録してあるドライバーであれば運転の順番・回数は自由とする					

昨年からの変更点には下線が引いてあります。

クラス	K耐久(軽自動車) 東海シリーズ § KNCクラス…軽自動車NA のクローズドクラス § KNOクラス…軽自動車NA のオープンクラス § KTCクラス…軽自動車ターボ のクローズドクラス § KTOクラス…軽自動車ターボ のオープンクラス § KWTクラス…軽自動車ワゴン&トラッククラス (オープンクラスのみ) <u>参加台数の都合上、一部クラスがGT耐久に編入される場合がある。</u> <u>新規格軽自動車は「-1分」の義務ピット時間ハンディー減算とする。(KWTクラスは除く)</u> <u>KWTクラスは「-2分」の義務ピット時間ハンディー減算とする。</u> KWTクラス該当車種は大会規則最後尾の別表参照。 GT耐久(普通車) 東海シリーズ 2 一部車種を除く(大会規則最後尾の別表参照) § 1+2クラス…以下に記した「1クラス」と「2クラス」をまとめて1つのクラスとする ・1クラス該当車:「1000cc 以下のNA車」 ・2クラス該当車:「1001~1500cc のNA車」と「1200cc 以下のターボ車」 <u>注)このクラスはオープン、クローズドとも同一クラスとする。</u> <u>ただしオープンクラス該当車は「+30秒」の義務ピット時間ハンディーを加算する。</u> <u>(改造度の大きな車両は、さらにハンディーが加算される可能性あり)</u> <u>注)1クラス該当車については、「-3分」の義務ピット時間ハンディーを減算する。</u> § 3Cクラス…「1501~2000cc のNAと1201~1500cc のターボ車」のクローズドクラス § 3Oクラス…「1501~2000cc のNAと1201~1500cc のターボ車」のオープンクラス § 4Cクラス…「2001~3500cc のNAと1501~2600cc のターボ車」のクローズドクラス § 4Oクラス…「2001~3500cc のNAと1501~2600cc のターボ車」のオープンクラス <u>注)4Cクラスと4Oクラスを統合して、4クラスとする。</u> <u>ただし、4Oクラスに相当する車両は+30秒のピットハンディーを加算する。</u> <u>参加台数の都合上、K耐久の一部クラスがGT耐久に編入される場合がある。</u> (2010年よりKRクラスは無くなりました。再開については今後検討させていただきます。) 【補足事項】 全クラスともナンバープレート(車検)の有無は問わない。 ロータリーについては、2ローターNAは3クラス、2ローターターボは4クラスとする。 オープン、クローズドの区分けについては車両規則を確認のこと。 スーパーチャージャーもターボと同解釈とする。 白ナンバー登録してある軽自動車は車両規則に該当するクラスにエントリーすること。
フリー走行	・フリー走行では、開始から3分の2ほどの時間はタイム計測を行わない。 <u>残り3分の1程度の時間でタイム計測を行い、この時のベストタイム順で決勝グリッドに並ぶ。</u> ・フリー走行におけるタイム計測の時間帯については、公式通知のタイムスケジュールで発表される。 ・フリー走行のピットイン回数、およびドライバー選定は自由。 ・フリー走行時は助手席への同乗走行が認められる。ただし同乗者はドライバーと同一の装備で乗車すること。 ・フリー走行後、耐久走行までの間の給油は許される。
グリッド順	・フリー走行で実施されたタイム計測の結果順に、決勝グリッドに並ぶ。 ・フリー走行でタイムを残せなかった場合は、タイムの残った最下位の車両の後ろのグリッドに並ぶこととする。
スタート方法	・耐久走行スタートの要領 コースイン後1周回ってグリッドに着く チーム員はグリッド上に出て自チーム車を誘導すること。 グリッド上ではリバースギヤは絶対には使用してはいけない(必要時は人力でバックさせること) 3分前ボード提示…ドライバー、オフィシャルを除く全ての者はコース上から退去する レース開始となるまではプラットホームへの入場は禁止 1分前ボード提示…ドライバーは車両に着座した状態でエンジンを始動する メインポストでグリーンフラッグが振られたら、セーフティーカーに先導されながら順列を保ったまま1周する。セーフティーカーがピットロードに入ったらローリングスタートでレース開始。ただし、前車を追い越して良いのは管制塔前の計測ラインから先となる。
ピットイン	ピットインは『義務ピットイン』と、『作業ピットイン』に分けられる。 1)『義務ピットイン』について ・以下の回数の義務ピットインを行わなければならない。 3時間耐久の場合…3回 4時間耐久の場合…4回 ・『義務ピットイン』では、どんな軽微な作業でも必ず基準時間停止しなければならない。 ・『義務ピットイン』時間は4分を基準時間とし、各種ハンディーで加減算される。 ・ハンディータイムについては、レギュレーション内の各項目を参照のこと。 ・『義務ピットイン』時の、ピットストップ時間の計り方は以下の通りとする。 ピットロードに入って管制塔を通過したら左レーンに入り21番ピット前で停止する。

	21番ピット前で「開始時間」を書いた「タイムカード」をオフィシャルが発行し、ピットイン車両に渡す。 「タイムカード」を受け取らなかった場合は「義務ピットイン」回数としてカウントされない 指定ピットに移動して、給油、ピット作業を行う。(指定ピット場所は受理書送付と同時に案内) ピットロードにいるタイム監視オフィシャルに「タイムカード」を渡しスタート指示を待つ。 「開始時間」からカウントしてピットストップ時間が経過したら、指定ピットからスタートすることが出来る。(オフィシャルがチェックする) 2)『作業ピットイン』について ・『作業ピットイン』時は右側のピットロードを通行し、21番ピット前で「タイムカード」を受け取らず指定ピットに向かうこと。 ・『作業ピットイン』の回数は自由とし、ピットストップ時間も自由とする。 ・『作業ピットイン』時に出来る作業内容は、「義務ピットイン」と同じ。 ・ピットハンディータイムは、作業ピットイン時には関係ない。 ピットレーンではリバースギヤは絶対には使用してはいけない(人力でバックさせること) ピットストップ時間に余裕がある場合、人力で車両を動かして(退出し易い)車両の向きに変えることは許される。ただし指定ピット付近から移動してはいけない。 作業が長時間に及ぶ場合は屋根下ピットに入れて作業すること。 <u>指定ピットを水びたしにするような行為は、出火時等の緊急時を除いては慎むこと。</u> <u>(ラジエター、タイヤ等を冷却したい場合は噴霧器を使用すること)</u>																																													
ハンディータイム	ハンディータイムは毎回の「義務ピットイン基準時間(4分)」に加減算される。 ■ プラスハンディー <table><tr><td></td><td>K耐久</td><td>GT耐久</td></tr><tr><td>1+2クラスの「オープンクラス」該当車両</td><td>...</td><td>+30秒</td></tr><tr><td>排気量UPエンジンスワップ</td><td>...</td><td>+30秒</td></tr><tr><td>エンジン ポアアップ</td><td>+1分</td><td>+30秒</td></tr><tr><td>エンジン ストロークアップ</td><td>+1分</td><td>+30秒</td></tr><tr><td>エンジン ポア&ストロークアップ</td><td>+2分</td><td>+1分</td></tr><tr><td>ターボ交換</td><td>...</td><td>+1分</td></tr><tr><td>樹脂外装パーツ(ドア、フェンダー、トランク、ハッチ)</td><td>+30秒</td><td>+30秒</td></tr><tr><td>オーバーフェンダー(1cm~3cm未満)</td><td>+30秒</td><td>+10秒</td></tr><tr><td>オーバーフェンダー(3cm以上)</td><td>+1分</td><td>+20秒</td></tr></table> ■ マイナスハンディー <table><tr><td></td><td>K耐久</td><td>GT耐久</td></tr><tr><td>KWTクラス車両</td><td>-2分</td><td>...</td></tr><tr><td>新規格軽自動車(KWTクラスは除く)</td><td>-1分</td><td>...</td></tr><tr><td>1+2クラスの「1クラス」該当車両</td><td>...</td><td>-2分</td></tr><tr><td>AノT車、CVT車</td><td>-30秒</td><td>-30秒</td></tr></table>		K耐久	GT耐久	1+2クラスの「オープンクラス」該当車両	...	+30秒	排気量UPエンジンスワップ	...	+30秒	エンジン ポアアップ	+1分	+30秒	エンジン ストロークアップ	+1分	+30秒	エンジン ポア&ストロークアップ	+2分	+1分	ターボ交換	...	+1分	樹脂外装パーツ(ドア、フェンダー、トランク、ハッチ)	+30秒	+30秒	オーバーフェンダー(1cm~3cm未満)	+30秒	+10秒	オーバーフェンダー(3cm以上)	+1分	+20秒		K耐久	GT耐久	KWTクラス車両	-2分	...	新規格軽自動車(KWTクラスは除く)	-1分	...	1+2クラスの「1クラス」該当車両	...	-2分	AノT車、CVT車	-30秒	-30秒
	K耐久	GT耐久																																												
1+2クラスの「オープンクラス」該当車両	...	+30秒																																												
排気量UPエンジンスワップ	...	+30秒																																												
エンジン ポアアップ	+1分	+30秒																																												
エンジン ストロークアップ	+1分	+30秒																																												
エンジン ポア&ストロークアップ	+2分	+1分																																												
ターボ交換	...	+1分																																												
樹脂外装パーツ(ドア、フェンダー、トランク、ハッチ)	+30秒	+30秒																																												
オーバーフェンダー(1cm~3cm未満)	+30秒	+10秒																																												
オーバーフェンダー(3cm以上)	+1分	+20秒																																												
	K耐久	GT耐久																																												
KWTクラス車両	-2分	...																																												
新規格軽自動車(KWTクラスは除く)	-1分	...																																												
1+2クラスの「1クラス」該当車両	...	-2分																																												
AノT車、CVT車	-30秒	-30秒																																												
給油	・耐久走行中の給油は、必ず指定ピット前で行うこと。 ・給油者は給油作業前に、ピットに設置された静電気除去シートに触ること。 ・給油は金属製のガソリン携行缶を必ず使用すること。 樹脂製のポリタンクの使用は禁止 ・1度の給油は20Lまでとする。 ・給油者はフルフェイスヘルメット、グローブ、長袖長ズボンを装着のこと。 (ジェットヘルの場合は耐火性フェイスマスクを着用すること) ・給油中はエンジンを必ず切ること。 ・給油中はドライバー交代(ベルト調整含む)以外の作業は全て禁止する。 (空気圧チェック、窓拭き、車載ビデオのバッテリー交換等も全て禁止) ・給油時は給油している横で消火器を持った消火要員を1名待機させ、消火器のノズルを給油口に向けて構えること。 ・水の入ったバケツをピットに置いておくこと。 ・消火器は粉末重量2.0Kg以上のものを1チームに1本持参すること。(車検時にチェックする) 給油作業の無いチームも消火器は必須とする。																																													
赤旗時の運営方法	・競技中断の必要があるアクシデントが発生した場合は赤旗を提示してレースを一時中断する。 ・赤旗提示後は追い越し禁止。 ・赤旗が全ポストで提示されたら、全競技車両は追突に注意しながらすみやかに速度を落とし、スロー走行すること。 ・全車両はメインポスト横のスタートラインを先頭に、右側に寄ってストレート上に停車すること。 ・ただしメインポストで初めて赤旗を見た車両は、追突を防止するためにもう1周回ってから停車すること。 ・「赤旗」(=「赤信号点滅」)が出たら、競技車両は以下の2通りの停止選択ができる。																																													

	コース上に残って競技再開を待つ方法 PITインしてピット又はピットレーンで競技再開を待つ方法（ただし赤旗提示後のPITインは全て「作業ピットイン」扱いとなり「義務ピットイン」にはならないので注意すること） ・赤旗提示後のPITインは、全車「作業ピットイン」扱いとなるためタイムカードは配らない。 ・ストレート上で待機している車両は、競技中断中にオフィシャルが指示し、暫定トップ車両を先頭に入れ替え（頭出し）を行う。コース上で暫定トップ車両よりも前に停車していた車は、セーフティカー（SC）が先導して1周回って隊列の後方に移動する。（このタイミングで作業ピットインすることも可能） ・競技再開時はSCが隊列を連れて先導し、最終コーナーに差し掛かったところでSCがピットインして競技再開となる。この時前車を追い越してよいのは、管制塔前の計測ラインから先とする。 ・SCがピットインした直後の車両より、義務ピットイン扱いが再開する。 ・赤旗中断中にピットロードで待機していた車両については、SCがピットインした後に隊列が全てストレートを通過したタイミングでピットエンドシグナルが青となり、コースインが出来る。 ・赤旗要素となった車両で走行に問題があると判断された場合、車両はレッカー（もしくは自走）で洗車場に移動される。 ・赤旗要素となったが結果的に走行に問題が無いような場合でも、隊列に戻ることはできず、必ず一旦「指定ピット」に戻らなければならない。（この際のピットインは義務ピットイン扱いにはならない） 赤旗提示前に既にピットインしていた義務ピットイン車両は、そのまま義務ピットイン回数としてカウントされる。																																										
コースアウト時等の対処	・コースアウト又はマシントラブルで赤旗要素となり、走行に問題があると運営側が判断した車両は、洗車場に移動される。 ・ジャリ、土を噛んでいる場合はそれを十分に落とし、トラブル箇所を確認した上で、ピットロードへの復帰に問題が無いことが確認された後に、コースインゲートよりピットロードに戻る事が出来る。 ・赤旗要素となり洗車場に行った車両は、洗車場からピットロードに復帰する際には「義務ピットイン」は選択できない。 ・ドライバー交代および、給油作業は、必ず指定ピットで行うこと。																																										
装備品	ドライバーは、「ヘルメット（SNELL規格又はJIS C種が望ましい）、グローブ（自動車ドライビング用で指先まで覆うもの）、厚手の長袖と長ズボン（レーシングスーツが望ましい）、運転に適したシューズ（レーシングシューズが望ましい）」を必着のこと。 レーシングスーツは安全上ダブルレイヤー以上のものが望ましい。																																										
準備必須品	各チームは給油の有無に関わらず、下記の備品を必ず準備しピットに常備すること。 ・消火器（粉末重量2.0Kg以上） ・バケツ																																										
ゼッケン	・ゼッケンは各チームで準備すること。 ・ゼッケンは下記の4箇所に貼り付けること。 ボンネット 左右ドア リヤ ・書体はゴシック体とし、1文字の大きさは、 は高さ240mm以上、幅120mm以上、太さ30mm以上。 は高さ120mm以上、幅60mm以上、太さ15mm以上であること。 ・車体色に対して見えやすい色にすること。（ゼッケンが見えにくい車体色の場合は、白いゼッケンベースを貼り、その上に黒文字のゼッケンを貼る事） ・新年度の希望ゼッケン番号は、前年度の使用者より優先権が与えられる。前年度参加歴の無いチームは申込み順に優先権を与える。 ・一度取得したゼッケン番号は、その年度は優先的に使用できる。																																										
窓の開閉	サーキット走行中は運転席側の窓は閉めること。助手席および後部座席の窓は開けてもよい。 ただしウインドウセーフティネット（レース用として販売されている物）を運転席側に装着した場合は、窓を開けて走行することが許される。（ゴルフネットやバイクのラゲッジネットの使用は認められない）																																										
順位の認定および完走の規定について	・順位認定は、コントロールライン上（ピットレーン上含む）でチェッカーを受けて最終周回を完了した車両に対して優先的に与えられる。 ・順位はチェッカーフラッグが振られた後に完了する周回数の多い車両から決定される。 同一周回の場合は、フィニッシュライン（ピットレーン上含む）通過順位によるものとする。 ・チェッカーを受けられなかった車両のうち、（各クラスごとの）優勝車両の走行周回数の70%以上を走行した車両は、チェッカーを受けた車両の後に順位付けされる。 ・走行周回数が、（各クラスごとの）優勝車両の走行周回数の70%未満（端数切捨て）の車両は順位の認定を受けられない。（完走扱いとはならない）																																										
賞典	クラスごとに表彰を行ない、総合順位での表彰は行わない。 賞典の対象台数は各クラスの参加台数によって以下の通りとする。 <table><tr><th>クラス参加台数</th><th>1位</th><th>2位</th><th>3位</th><th>4位</th><th>5位</th><th>6位</th></tr><tr><td>10台以上</td><td>賞典</td><td>賞典</td><td>賞典</td><td>賞典</td><td>賞典</td><td>賞典</td></tr><tr><td>8～9台</td><td>賞典</td><td>賞典</td><td>賞典</td><td>賞典</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>6～7台</td><td>賞典</td><td>賞典</td><td>賞典</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>4～5台</td><td>賞典</td><td>賞典</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>3台以下</td><td>賞典</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></table> 賞典はトロフィーと副賞となる。	クラス参加台数	1位	2位	3位	4位	5位	6位	10台以上	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	8～9台	賞典	賞典	賞典	賞典	—	—	6～7台	賞典	賞典	賞典	—	—	—	4～5台	賞典	賞典	—	—	—	—	3台以下	賞典	—	—	—	—	—
クラス参加台数	1位	2位	3位	4位	5位	6位																																					
10台以上	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典	賞典																																					
8～9台	賞典	賞典	賞典	賞典	—	—																																					
6～7台	賞典	賞典	賞典	—	—	—																																					
4～5台	賞典	賞典	—	—	—	—																																					
3台以下	賞典	—	—	—	—	—																																					
シリーズポイント	・クラスごとの順位で毎戦ポイントを与え、1～5戦の合計をシリーズポイントとしシリーズ順位を付ける。																																										

	・ポイントはクラスごとで、完走扱い車両の上位から10位までの車両に与えられる。 ・ポイントは下表の通りとする。(全戦共通) <table><tr><td>1 位</td><td>20 点</td><td>6 位</td><td>6 点</td></tr><tr><td>2 位</td><td>15 点</td><td>7 位</td><td>4 点</td></tr><tr><td>3 位</td><td>12 点</td><td>8 位</td><td>3 点</td></tr><tr><td>4 位</td><td>10 点</td><td>9 位</td><td>2 点</td></tr><tr><td>5 位</td><td>8 点</td><td>10 位</td><td>1 点</td></tr></table> ・ポイントはチームに付くものとする。よってシーズン途中で車両の変更があった場合でも、チームとしてのポイントは継続する。ただし、クラスを変更した場合は継続出来ない。 ・合計が同ポイントの場合の順位は上位得点の回数の多い順に決定される。 なお、上位得点の回数が同一である場合は、最終戦時に獲得したポイントが高い順によって決定し、それでも決まらない場合はカウントバック方式により最終戦の前戦時、前々戦時・・・に獲得したポイントが高い順によって決定する。 ・当該レースにおいて失格した場合は、ポイントは獲得出来ない。 ・シリーズ順位上位チームは最終戦でシリーズ表彰をする。ただし各クラスの表彰対象は、1～5戦までの平均参加台数によって決まる。 <table><tr><td>平均参加台数</td><td>表彰対象台数</td></tr><tr><td>10台以上</td><td>シリーズ6位まで</td></tr><tr><td>8～9台</td><td>シリーズ5位まで</td></tr><tr><td>6～7台</td><td>シリーズ4位まで</td></tr><tr><td>4～5台</td><td>シリーズ3位まで</td></tr><tr><td>3台以下</td><td>シリーズ2位まで</td></tr></table> 平均台数は小数点以下切り上げとする。つまり平均3.1台の場合は4台と換算。	1 位	20 点	6 位	6 点	2 位	15 点	7 位	4 点	3 位	12 点	8 位	3 点	4 位	10 点	9 位	2 点	5 位	8 点	10 位	1 点	平均参加台数	表彰対象台数	10台以上	シリーズ6位まで	8～9台	シリーズ5位まで	6～7台	シリーズ4位まで	4～5台	シリーズ3位まで	3台以下	シリーズ2位まで
1 位	20 点	6 位	6 点																														
2 位	15 点	7 位	4 点																														
3 位	12 点	8 位	3 点																														
4 位	10 点	9 位	2 点																														
5 位	8 点	10 位	1 点																														
平均参加台数	表彰対象台数																																
10台以上	シリーズ6位まで																																
8～9台	シリーズ5位まで																																
6～7台	シリーズ4位まで																																
4～5台	シリーズ3位まで																																
3台以下	シリーズ2位まで																																
再車検	・走行終了後に上位車両は再車検の指示が出る場合がある。 ・再車検でオフィシャルより作業の指示が出た場合は、チーム員がその作業を行うこと。 ・再車検にてレギュレーション違反が発覚した場合は完走扱いにならない。																																
ウエイトハンディー	・1位入賞チームは次戦にて以下のウエイトハンディーを課する。(開幕戦には適用されない) ・次戦に不参加の場合は、次々戦には持ち越さない。 ・2戦以上連続で1位となった場合は20Kg ウエイトが加算される。ただしMAX40Kgとする。 <table><tr><td>クラスエントリー台数</td><td>前戦で1位のチーム</td><td>2戦連続1位のチーム</td></tr><tr><td>4台以上</td><td>20kg</td><td>40Kg</td></tr><tr><td>1～3台</td><td>なし</td><td>なし</td></tr></table> ・ウエイトは下記の中から選択し搭載すること 主催者が準備したウエイト(サイズ等は当事者に直接連絡) 参加者が準備したウエイト(自作品、テンパータイヤ、助手席) ・については合計で20kg(40Kg)となればよい。車検時に重量測定を実施する。 ・ウエイトの取り付け位置は助手席下の床面か、テンパータイヤスペースを推奨する。 ・のウエイトを使用するエントリーには、ウエイト寸法を予め告知するので、取付ステーと取付け用ボルトナットを準備すること。	クラスエントリー台数	前戦で1位のチーム	2戦連続1位のチーム	4台以上	20kg	40Kg	1～3台	なし	なし																							
クラスエントリー台数	前戦で1位のチーム	2戦連続1位のチーム																															
4台以上	20kg	40Kg																															
1～3台	なし	なし																															

注1) 「KWT(軽自動車ワゴン&トラック)クラス」に該当する車種は下記となる
このクラスはオープンクラスのみとなる。

スズキ	ワゴンR、パレット、エブリイ、キャリー、
ダイハツ	ムーヴ、タント、アトレー、ハイゼット
ホンダ	ライフ、バモス、アクティ
三菱	i(アイ)、タウンボックス、ミニキャブバン、ミニキャブトラック
その他のメーカー・車種では、以下の条件を満たすものを基本的にKWTクラスと見なす。 いわゆる軽トラック形状の車両、または メーカーカタログの全高が1600mm以上の車両 ただし下記のように例外もある	
ただし右記の車両はKWT クラスには該当しない	マイティボーイ、アルトハッスル

該当車種についてご不明な点がございましたら事務局までご質問下さい。

注2) 「1C,1O,2C,2O,3C,3O,4C,4O クラスの該当車両について」
上記のクラスにおいては、以下の車両は量産箱型車と著しく性能差があると判断し、当該クラスには含まない(エントリー出来ない)ものとする。

- ・量産箱型車両とは著しく性能差があると判断される車・・・ロータスエリーゼ、エクシージ等
- ・箱型(モノコックフレーム)でない車両・・・スーパーセブン、ザウルス等
- ・その他主催者が上記に属すると判断した車両

【車両規則】

本規則に合致しない／守れない車両は失格となります。走行前の車検に通っても、再車検時に違反が発覚した場合はその日の成績抹消となりますのでご承知おき下さい。

昨年からの変更点は下線が引いてあります。

§ 安全関係 (全クラス共通)

ロールケージ	ロールケージの装着を強く推薦する。 オープンカーは4点式以上のロールケージを必ず装着すること。 スチール製以外の脱着ルーフ／開閉ルーフの車両はオープンカーと見なす。 オープンカーは6点式以上のロールケージが装着されている場合に限りルーフを開けて(外して)走行することを認める。 ロールケージの装着を推進するため、装着の有無によってエントリー代に差を設ける。 <u>ロールケージ未装着車はウエイトハンディーとして、助手席に純正シートの装着を義務付ける。</u>
シートベルト	4点式以上のシートベルトの装着を義務付ける。確実な方法で装着すること。 取り付けのためのボディー加工は可能だが、最小限にとどめること。
消火器	内容量2Kg以上の粉末消火器の搭載を強く推奨する。 取付方法はJAF国内競技車両規則を参照し、確実な方法で固定すること。
前後牽引フック	コースアウトしてバンパー下端までジャリに埋まった際に牽引出来る位置(下記 又は の位置)に、前後ともに牽引フックを装着しなければならない。 バンパー下端より上の位置(ジャリに埋まっても見える位置) 又は バンパーの先端より外側の位置(この場合バンパー下端より下でもよい) ただし の位置の場合は、ジャリに埋まると牽引フックが隠れるため、フックの位置を赤、オレンジ、又は黄色の矢印で示すこと。 『純正牽引フックについて』 純正牽引フックは、バンパー下端までジャリに埋まった際に、すぐに牽引フックが目視確認できて、レッカー出来る位置にある場合のみ許される。ネジ込み式も可とする。 また、リヤに限りバンパーに穴を開けて、奥側にある純正牽引フックに手が届くような措置を取ることが許される。 牽引フックはJAF国内競技車両規則に合致していることが望ましい。 牽引部は赤、オレンジ、黄色のいずれかに塗ること。 <u>構造上牽引フックの装着が困難な車両は、フックの代わりに牽引ロープを装着することを特認する。(ただし必ず事前に主催者の許可を得ること)</u>
ライトテーピング	ガラスレンズのライトには必ずテーピングをすること。(プラスチックレンズは不要) ただしライトの点灯を妨げないよう透明なテープを使用するか、全面を覆わないようにテーピングすること。
バッテリー	+端子はテーピングして覆うこと。(純正のゴムカバーも可だが簡単にめくれないようにテープで巻くこと) オープンクラスで「ドライタイプでないバッテリー」を室内に移設する場合は、必ずバッテリーカバーを装着すること。
オイルキャッチタンク	ブローバイ経路を変える場合は大気開放は禁止とし、オイルキャッチタンクで受けること。 容量は2L以上を推奨する。
ウインドウネット	装着は自由。(運転席に装着した場合は窓を開けて走行することが許される) ネットはレース用として販売されている物、又は同等の強度・品質を持つものに限る。<u>ゴルフネットやバイクのラゲッジネットなどの使用は認められない。</u>

上記に記載の無い項目について安全対策を施す場合は、JAF国内競技車両規則を参考にすること。

S 改造関係

各クラスともナンバーの有無は問いませんが、ナンバー付きの車両は法規に触れないよう各自で自覚をもって改造をして下さい。車検にてクロードクラスに合致しない改造が認められた場合は、オープンクラスに移行していただきますのでご承知願います。

昨年からの変更点は下線が引いてあります。

1) エンジン、駆動関係

印の項目はピットストップ時間ハンディーの対象となります。

	【オープンクラス】	【クロードクラス】
エンジン本体	・改造は自由。ただし改造内容によって下記のピットハンディーを加算する。 【軽自動車】 ・同じメーカーの軽自動車用エンジンであればスワップ可。 ・軽自動車のエンジン本体を使用した排気量アップは許される。(白ナンバー登録軽自動車の参戦可能) <u>ただし排気量アップした場合は以下のピットハンディーを加算する</u> ・ボアアップ(1mm以上)・・・+1分 ・ストロークアップ・・・+1分 ・ボア&ストロークUP・・・+2分 【普通車】 ・同じメーカーのエンジンであればスワップ可。<u>この場合スワップ後のエンジン排気量クラスへの参加となる。</u> <u>ただしその車種(1)に設定のあった排気量を超えるエンジンをスワップした場合はピットハンディー+30秒とする</u> 1. 車種の定義 同一時期に発売された車両型式違いを含む同一車名の車両(例えば、AE85レビンとAE86レビンなど) 例:1300~1600ccのラインナップがあったEGシビックの場合以下になる。 ・EG6シビック(1600cc)に1800ccのエンジンを搭載した場合は+1分) ・EG3シビック(1300cc)に1600ccのエンジンを搭載した場合は±0分(ただしエントリーは3クラス)) ・排気量アップは許される。この場合排気量アップ後のエンジン排気量クラスへの参加となる。 <u>ただし排気量アップした場合は以下のピットハンディーを加算する</u> ・ボアアップ(1mm以上)・・・+30秒 ・ストロークアップ・・・+30秒 ・ボア&ストロークUP・・・+1分 <u>スワップと、ボアアップ・ストロークアップの両方を実施している場合、ハンディーは加算される。</u>	・改造は禁止する。 オーバーホールは自由だが、使用する部品はそのメーカーの純正部品に限る。 (例)社外品メタルガスケットや、社外品鍛造ピストン等の使用は禁止) ・純正補修部品を使用した範囲の排気量アップは許される (例)メーカー純正 0.25mm オーバーサイズピストンの使用は許される。 【軽自動車】 ・オリジナルと同一形式のエンジンであればスワップ可。ただしナンバー付き車は車検適合していること。 【普通車】 ・オリジナルと同一形式のエンジンであればスワップ可。ただしナンバー付き車は車検適合していること。
ターボ(アクチュエーター含む) (ターボクラスのみ)	【軽自動車】 交換、改造は自由。ハンディーは無し。 【普通車】 交換、改造は自由。 <u>ただしターボを交換、改造した場合は、+1分のハンディータイムを加算する。</u>	【軽自動車】 ・同じメーカーの軽自動車用純正品であれば交換可能 【普通車】 ・同じメーカーの純正品であれば交換可能。
インジェクター	交換自由。	交換自由。

ECU (エンジンコントロールユニット)	交換、改造は自由。 追加コンピュータ、フルコンピュータの装着も自由。	交換、改造は自由。 ただし追加コンピュータ、フルコンピュータ(MOTEC、eマネージ、金プロ等)の装着は禁止する。
ブーストコントローラ (ターボクラスのみ)	装着は自由。	装着は自由。
プラグ、 プラグコード、 バキュームホース	交換自由。	交換自由。
フライホイール	交換、改造は自由。	交換、改造は自由。
その他エンジン 補機類	交換、改造は自由。	純正品の使用に限る。
ラジエター、水配管、 サーモスタット、ラジ エターFAN、インター クーラー	交換自由。 装着位置も自由。	交換自由。 ただし装着は純正と同じ位置に限る。 インタークーラーについては若干の位置の 移動は認められる。
オイルクーラー	交換、追加装着自由。	交換、追加装着自由。
オイルフィルター	装着位置の変更、取り付けブロックの新設 は自由。	装着位置の変更、取り付けブロックの新設 は自由。
燃料タンク	安全タンクの装着が許される。 コレクターの装着も許される。	交換、改造は禁止。 コレクターの装着も禁止。
バッテリー	交換は自由。 搭載位置も自由。ただし車内にドライ以外の バッテリーを搭載する場合は必ずカバー を装着すること。	交換は自由。 搭載位置の変更は禁止。
吸気系	交換、改造自由。	交換、改造自由。
排気系	自由。走行中の排気音量が 100db未満で あること。 走行中に音量測定をします。	自由。走行中の排気音量が 100db未満で あること。 走行中に音量測定をします。
クラッチ	交換自由。	交換自由。
ミッション、デフ、シャ フト類	自由。 ただし A/T および CVT ミッション車両 は、ピットハンディー -30 秒とする。	自由。 ただし A/T および CVT ミッション車両は、 ピットハンディー -30 秒とする。

2) 車体関係

印の項目はピットストップ時間ハンディーの対象となります。

	【オープンクラス】	【クローズドクラス】
タイヤ	一般ラジアルタイヤに限る(スリック、Sタイ ヤ(別表1参照)は禁止) サイズは自由。ただしタイヤは車軸中心よ り前方30°、後方50°の範囲内でフェン ダー等より突出していないこと。	一般ラジアルタイヤに限る(スリック、Sタイ ヤ(別表1参照)は禁止) サイズは自由。ただしタイヤは車軸中心よ り前方30°、後方50°の範囲内でフェン ダー等より突出していないこと。
ホイール	サイズ含め自由。ただしホイールは車軸 中心より前方30°、後方50°の範囲内 でフェンダー等より突出していないこと。 スペーサーは使用しないことを強く推奨す る。ホイールナットは自由。	サイズ含め自由。ただしホイールは車軸中 心より前方30°、後方50°の範囲内でフ ェンダー等より突出していないこと。 スペーサーは使用しないことを強く推奨す る。ホイールナットは自由。
足回り	交換・改造は自由。ただし基本構造の変 更は禁止。((例)ストラットをダブルウィッ シュボーンに変更することは禁止) スタビライザーの追加は認められる。	交換・改造は自由。ただし基本構造の変 更は禁止。((例)ストラットをダブルウィッ シュボーンに変更することは禁止) スタビライザーの追加は認められる。
ブッシュ類	ピロ化、ウレタン化、リジッド化を含め自 由。	強化ゴム化は自由。ウレタン化は禁止。 ただし以下の部位はピロ化およびゴムブ ッシュを別の素材に変更することが許される。 ・サスペンションアッパーマウント ・ラテラルロッド ・サブフレームのマウント ゴムブッシュの隙間にシリコンなどのゴム系 の素材を充填することは認められる。
ブレーキ	システム全て交換は自由。 冷却ダクトの装着は許される。	パッド、シュー、ローター、ラインの交換は自 由。キャリパー、ドラムはその車両のメーカ ー純正品に限り交換が許される。 冷却ダクトの装着は許される。
前後ライト	取り外しは禁止。同一型式系車種の物へ の交換は許される。全ての灯火類は正常 に作動すること。	取り外しは禁止。また元の車種の物が装着 されていること。全ての灯火類は正常に作 動すること。

外板類(ボンネット、トランク、バックドア、ドア、フェンダー)	外板類の材質変更は自由。 形状の変更は最小限に留めること。 ただし同一型式系の車種の外板に限り変更することが許される。 ただし樹脂性のトランク、バックドア、ドア、フェンダー-いずれか1つでも装着している車はピットハンディー + 30 秒。 ボンネットはハンディー対象外	外板類はボンネットのみ材質変更が許される。形状の変更は車検に通る範囲内であること。												
外装類(ウイング、エアロパーツ、前後バンパー)	ウイング、エアロパーツの交換、装着は自由。バンパーの加工、交換は自由。グリルの交換、改造は自由だが取り外しは禁止。	ウイング、エアロパーツの交換、装着は自由だが、車検に通る大きさであること。バンパーの加工、交換は自由。グリルの交換、改造は自由だが取り外しは禁止。												
オーバーフェンダー	装着または叩き出しが認められるが、拡大幅によって 以下のハンディータイムが与えられる。 <table border="1"> <tr> <th>拡幅量</th><th>K 耐久</th><th>GT 耐久</th></tr> <tr> <td>片側 1cm未満</td><td>なし</td><td>なし</td></tr> <tr> <td>片側 1cm以上 ～3cm未満</td><td>30 秒</td><td>10 秒</td></tr> <tr> <td>片側 3cm以上</td><td>1 分</td><td>20 秒</td></tr> </table>	拡幅量	K 耐久	GT 耐久	片側 1cm未満	なし	なし	片側 1cm以上 ～3cm未満	30 秒	10 秒	片側 3cm以上	1 分	20 秒	装着は禁止する。 ただし、ノーマルフェンダーを手で引っ張り出したレベルのもの、フェンダーの爪折りは許される。
拡幅量	K 耐久	GT 耐久												
片側 1cm未満	なし	なし												
片側 1cm以上 ～3cm未満	30 秒	10 秒												
片側 3cm以上	1 分	20 秒												
窓	材質の変更は自由。	全箇所ともガラス製であること。												
ミラー	交換は自由。取り外しは不可。	交換は自由。取り外しは不可。												
シート	交換は自由。取り外しも自由。 ただしロールケージ無し車両はウエイトハンディーとして助手席に純正シートの装着を義務付ける。	交換は自由。取り外しも自由。 ただしロールケージ無し車両はウエイトハンディーとして助手席に純正シートの装着を義務付ける。												
内装	運転席、助手席のドアの内張り、および車体のドア開口部のプロテクターを除き、内張りを取り外すことは許される。ただしナンバー付き車両は乗車定員が座るシート横の内張りがあること。	運転席、助手席のドアの内張り、および車体のドア開口部のプロテクターを除き、内張りを取り外すことは許される。ただしナンバー付き車両は乗車定員が座るシート横の内張りがあること。												
エアコン、ヒーター	取り外しは自由。	取り外しは自由。												
追加メーター、ラップチェッカー、データロガー	装着は自由。	装着は自由。												
補強バー類	溶接での装着も含め自由。	ボルトオンでの装着に限り自由。												
ボディー本体	箱型モノコック構造の車両であること。 モノコックの補強は自由。 ただし純正パネルの改造は最小限にすること。 パイプフレーム化は禁止。 KWTクラスでエンジンが荷台に飛び出す場合はカバーで隠すこと。トラック車両は荷台のあおりを外すことが認められる。	箱型モノコック構造の車両であること。 モノコックの補強は自由。 純正パネルの改造は禁止する。 パイプフレーム化は禁止。												

別表1(使用禁止のタイヤ)

メーカー	銘 柄
ブリジストン(POTENZA)	RE520S、RE540S、RE55S、RE11S
ヨコハマゴム(ADVAN)	A021、A032、A038、A039、A048、A049、A050
ダンロップ(FORMULA-R、DIREZZA)	D93J、D98J、D01J、02G、03G、RSV98
トーヨータイヤ(PROXES)	FM9R、08R、R881、R888、R1R
GOOD YEAR	Sタイヤ該当無し
クムホ	Sタイヤ該当無し
ハンコック	Z221

上記タイヤ以外でも主催者が判断した場合は使用禁止となる。

■ 不明な点がありましたら下記までご質問下さい。

【お問合せ先】

〒438-0073 静岡県磐田市二之宮東 14-17 (株)GT CAR プロデュース内「GT走行会事務局」担当 高原
電話 0538-37-6677 FAX 0538-37-6678 E-mail info@gt-produce.com

公式HP <http://www.gt-produce.com/>